

一般国道54号(可部バイパス)建設に伴う埋蔵文化財
トンガ坊城跡発掘調査通信

とんがぼ 第3号

(財)広島市文化財団
文化科学部文化財課

トレンチ調査が終了、調査は次の段階に

今年の夏は、例年に比べてとりわけ暑い日々が続き、休憩用のテントの下でも37℃、ひなたでは50℃(！)に達した日もありました。9月に入って少しは楽になったような気がしますが、まだ最高気温が30℃を超える日もあり、秋が待ち遠しい今日このごろです。

トンガ坊城跡の発掘調査は、これまで第1段階としてトレンチ調査を行ってきました。約2ヶ月にわたって、調査範囲のいたるところに掘ったトレンチは、その数35本、総延長は約350m。いやー、掘りまくりました。

現在はトレンチ調査によって得られたデータをもとに、調査範囲全体の土を掘り上げ、いよいよ遺跡の全体像を把握する作業に入っています。

トレンチ調査の成果

2ヶ月間のトレンチ調査。これによってトンガ坊城跡の様子がわかってきました。

弥生時代のムラを確認

少なくとも7軒の竪穴住居跡をはじめ、弥生土器がたくさん出土する段など、弥生時代のムラを確認しました。

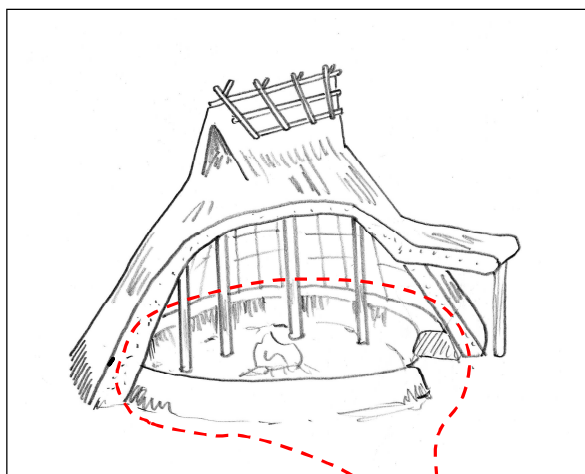


写真1

トレンチ調査で確認できた遺構のおおよその位置です

写真2

トレンチの底に見える平坦面が、弥生時代の竪穴住居跡の床面。1軒目の家が使われなくなった後、ほぼ同じ場所に2軒目の家が建てられたため、2軒分の床面が階段状にあらわれています。



竪穴住居跡復元図

点線で囲まれた竪穴部分が地中に埋もれています



写真3

姿をあらわし始めた弥生時代の住居跡。テントの下にもう半分が埋もれています。

古墳もあるかも

遺跡のある尾根筋の先端付近（写真1の赤丸の部分）のいくつかのトレンチで、幅約1mの落ち込みが見つかりました。これらの落ち込みをつなげると、直径約5mほどのドーナツ状の溝になるようです。どうも、小型の古墳を囲む溝のようです。もしかしたら、他にも何かあるかも・・・

トンガ坊城跡発掘調査に関するお問合せ
財団法人広島市文化財団文化科学部文化財課
広島市東区光町二丁目15番36号
TEL082-568-6511
ホームページ <http://www.mogurin.or.jp>
発掘調査現場直通 090-6433-6743

現場の見学できます！
ただし、深い穴や溝が多数あり大変危険ですので、調査作業が行われていない時はご遠慮ください。
なお、見学して面白くなるのはもう少し先になります。